

AYAKEN PROGRESS 2023



一般社団法人
AYAがんの医療と支援のあり方研究会

目次

1	団体概要	……P2
2	2023年度の活動のまとめ	……P3
3	2023年度事業概要（報告）	……P4~10
4	2023年度 役員名簿	……P11
5	2023年度 AYA研組織図	……P12
6	2023年度決算報告 および会員状況	……P13

「AYAがんの医療と支援のあり方研究会」とは

AYA がんの医療と支援のあり方研究会は、思春期・若年成人（AYA）がんの医療と支援の向上を目的として、当事者とともに、学術活動、教育活動、社会啓発及び人材育成等を行う学術団体です。

AYA世代は主に15-39歳の若い人のことを指し、国内では年間約20,000人がこの世代でがんと診断されています。

がんの治療成績は治療法の進歩とともに改善していますが、とりわけ、AYA 世代は、身体的、精神的に成長発達し、社会的に自立していく重要な時期であり、人生を方向付ける主要なライフイベントが集中する時期でもあります。

がんやその治療は人によってさまざまですが、病気や治療のために生活や人生設計の変更を余儀なくされる人は少なくなく、AYA世代に衝撃を与えます。

AYA研は、職種や立場を超えた対話を大切にしながら、AYA世代の当事者と同じ目線で医療や生活の課題を捉え、当事者に還元することを目指した学際的な研究や活動を推進しています。

2023年度の活動のまとめ

AYA研の年間カレンダーはAYA weekから始まります。

AYA weekは今年3回目を迎え、3月上旬の行事として定着してきました。今年から始めたAYAフラッグは惜しくも全国制覇は逃しましたが、多くの地域でAYA世代のがんの啓発のきっかけとなりました。5月の第5回学術集会では、第1回学術集会以来の会場開催が実現しました。シンポジウムも、一般演題も、AYA研ならではの多様性がディスカッションに奥行きと深みを与え、大いに盛り上がりました。

COVID19の5類感染症移行後、サポート研修も対面開催が実現できました。また、地域がん診療連携拠点病院等の「AYA支援多職種チーム」の要件化されることを見据え、AYA世代に対するチーム医療の提供体制に悩む施設を支援するはじめての取り組みとして、チームビルディング研修を開催し、好評をいただきました。

さらに、今年は社会連携事業として全国のAYA世代の患者会にお声かけさせていただき、AYA世代のピアサポートの課題を共有する試みを行いました。お話のなかには共通の課題もあり、今後、AYA研がAYA世代の患者会に対してどんなサポートができそうかを考える機会となりました。また今年は国際連携活動を発展させ、米国で開催されたGlobal AYA Cancer CongressでAYA研の取り組みを発信するとともに、海外の様々な取り組みを国内に紹介しました。患者・市民参画—というよりも医療者と患者・支援者の協働—は、しなやかな感性と行動力のあるAYA世代だからこそ可能だと考えています。次年度からは患者経験者の国際学会への参加を支援していく予定です。

今年から始めた理事長主宰の「カタリバ」は、支援者の声を拾う場、ピアサポートの場であり、新しい出会いやアイディアを生む場となっています。AYA世代は自立を志向する世代で「自分でなんとかしたい」と頑張りがち。それに対して医療従事者も「なぜAYAだけ？」と、忙しさも手伝って、新たな支援に対して後ろ向きになりがちです。個人の努力でできることには限界があり、AYA世代の支援者の孤立は切実です。支援者が二ヒリズムに陥らないように、また組織におけるAYA支援が持続可能な取り組みになるように、今年度から思いのある支援者を、所属する組織が応援していただき、AYA支援を持続可能な取り組みとしてほしいと、知識の向上、継続的な学習、相談等、支援者のニーズに応える団体会員制度を設けました。

設立から5周年の節目を迎え、AYA研は正念場にあります。がんの診断や治療の進歩によって、がんの予後は今後も良くなり続けるだろうと思います。しかしAYA世代というライフステージ、がんが命を脅かす病気であることは変わりがない以上、がんがAYA世代にもたらす衝撃も普遍的であろうと思います。AYA研は、AYA世代のがんの課題に焦点を当て続け、これからも必要な活動を続けていきます。ぜひ積極的なご参加とご支援をお願いいたします。

一般社団法人AYAがんの医療と支援のあり方研究会
理事長 清水千佳子
(国立国際医療研究センター病院 乳腺・腫瘍内科/がん総合診療センター)



2023年度事業概要（報告）

2023年度もAYA研として様々な取り組みをしました。

AYA week 2023の開催

AYA weekは、AYA 世代のがんおよび患者の抱える問題の実態を理解し、AYA がん患者にとって生きやすい社会を作るために、自分ができることを考えられるようなきっかけを生むためのAYA 世代がんの社会啓発活動を目的としています。

「知ろう、一緒に」をメインテーマに、3回目となるAYAweek2023は「つながる」を大きなテーマとして、2023年3月4日～3月12日の9日間（プレ・ポストイベントを含む）に、オンライン・オンサイトの両方で全国93団体が参加、各団体が様々なイベントを開催いたしました。

フラッグ企画では全国46都道府県より113枚のフラッグが集まりました。全国28施設のがん相談支援センターにもご協力をいただいたAYAweek youtubeチャンネルはチャンネル登録数173名、51本の動画を配信いたしました。Twitter（フォロワー数1,618）Instagram（フォロワー数632）やfacebook、tiktokなどでも積極的に発信し啓発を行いました。AYA世代でがんを経験された方へ「言われてうれしかった言葉」「言われて嫌だった言葉」をアンケートを行いました。3月11日に開催したオンライン大交流会では80名もの方にご参加いただきました。企画は全国より公募したAYA 研内外の25名から成る実行委員会が、事務局チーム、メディアチーム、フラッグチーム、大交流会チーム、教育チーム、渉外チームの6つのチームに分かれて行いました。

また、期間中、全国の団体・個人の方よりWeb サイト(Syncable)を通じてご寄付をいただきました。趣旨に賛同し、寄付・活動に参画のご厚情を賜りました皆さまに、この紙面を借りて、厚く御礼申し上げます。

知ろう、一緒に。

AYA WEEK 2023

AYA世代の"がん"の今と「つながる」1週間。

※AYA世代とは、15歳～39歳のこと

2023.03.04(SAT) - 03.12(SUN)

AYAweekは、若い世代のがんの啓発週間です。日本全国で、様々なイベントが開催されます。

主催：AYAweek2023実行委員会
実行委員：AYAweek2023実行委員会 各都道府県 各都道府県
お問い合わせ先：AYAweek2023実行委員会
AYAweek2023
http://syncable.jp

AYA世代フラッグ参加方法

がん患者の悩みを伝えるフラッグ

1. AYAweek2023事務局に申込
申込締切：2023年1月30日(水)
2. フラッグ布地 (約118cm×80cm)が届きます
3. みなさんで自由にフラッグを作成！
4. フラッグ写真データをAYAweek事務局にお送りください (締切：2023年1月25日)

AYA世代(15～39歳)の啓発週間
AYA WEEK 2023

2023.03.04(SAT) - 03.12(SUN)

開催予定イベント
イベントスケジュール
各種資料ダウンロード
公式SNS・寄付サイト
当事者・支援者の声(VOICE)
協賛企業からのメッセージ
...and More!

公式サイト、更新しました。
aya-week.jp

AYA世代がん経験者が言われてうれしかった言葉①

「スげさかもしれないけど、〇〇ちゃんがいってくれる事が一番大事だから」

自分や家族のいないように生きられれば
死は怖くてもいいと思うけど、
大事な人たちが、私に生きていてほしいと
心から思っている事に気が付いた。

AYA世代がん経験者が言われてうれしかった言葉②

「電話しようよ！」

地元の家通と通話することはとても嬉しいけど
電話をしていた時は自分のことや周りのことを
忘れられる感じがした。

話そう、つながろう。

**AYAweek2023
オンライン大交流会**

ご参加ありがとうございました！

2023年度事業概要（報告）

（学術集会、講演会等の開催事業）

第5回学術集会の開催

医療者や研究者のみならず、AYA世代がんの医療や支援に関わる多職種の方々、および、自ら活動されている患者の皆さんが参加し対等の立場で討議する学術集会です。渡邊知映大会長のもと患者視点で練られたプログラムで、さまざまなバックグラウンドの人が参加するからこそその実りある議論と、次なる共創につながる新しい出会いがありました。

会長： 渡邊 知映（昭和大学保健医療学部）

テーマ：CO-CREATION 一対話からはじめる共創一

会期： 2023年5月13日（土）・14日（日）

オンデマンド配信 2023年5月26日（金）～6月30日（金）

会場： 昭和大学上條記念館

参加者：492名



（教育・研修、並びに人材育成事業）

会員用コンテンツの作成

2023年度の新たな試みとして、会員専用サイトにAYA世代のがんや支援に関する情報サイトを構築し、下記の4つのコンテンツを会員に配信しました。

- 1) 2023 年9月21日公開 AYA 世代のがん患者総論
【世代の特徴とがんの特徴・診療実態・患者のニーズ・TEAM 医療】
講師 清水千佳子（国立国際医療研究センター病院 乳腺・腫瘍内科）
- 2) 2023 年 10 月 2 日公開 AYA 世代のがん患者総論
【家族をつくること（1）女性の妊孕性（2）男性の妊孕性】
講師 鈴木 直（聖マリアンナ医科大学 産婦人科学）
- 3) 2023 年 11 月 1 日公開 AYA 世代のがん患者総論
【サポーターシップケア（1）心理・精神面の問題】
講師 平山 貴敏（国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科）
- 4) 2023 年 12 月 1 日公開 YA 世代のがん患者総論
【サポーターシップケア（2）意思決定・コミュニケーション】
講師 平山 貴敏（国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科）

2023年度事業概要（報告）

（教育・研修、並びに人材育成事業）

AYA世代がんサポート研修会/チームビルディング研修会

AYA世代がん患者の支援ニーズに気づき、自分にできることを学び、支援の窓口を知ることが目的として、2023年度も2回のAYAがんサポート研修会を開催いたしました。1回は4年ぶりの対面開催をいたしました。また、本年度からは施設のAYA支援チームを対象としたチームビルディング研修会も開始いたしました。



・ AYA世代がんサポート研修会

第7回開催：2023 年4 月16 日（日）10-17 時(WEB開催)

事前e-learning 視聴期間：3 月22 日～4 月10 日

当日ファシリテーター：8 名、e-learning 講師・当日質疑応答：12 名
参加・修了者 40 名

第8回開催：2023 年12月 9 日（土）10-17 時（現地開催）

会場：TKP 東京駅カンファレンスセンター

事前e-learning 視聴期間：11月10日～12月3 日

当日ファシリテーター：8 名、e-learning 講師・当日質疑応答：12 名
参加・修了者 41 名

・ AYAチームビルディング研修会

第1回開催：2023年11月18日（土）9:30-17:00（現地開催）

会場：TKP 東京駅カンファレンスセンター

当日ファシリテーター：6 名、当日講師：5 名

参加・修了チーム 5チーム 17名

（教育・研修、並びに人材育成事業）

研修用 E-ラーニングシステム構築

Edulio とVimeo を使用したシステムを構築し、7件の視聴用講義動画を更新しました。AYA世代がんサポート研修などの人材育成事業に活用されます。

2023年度事業概要（報告）

（関連諸団体との連携）

国際的な連携

第 5 回学術集会国際連携委員会企画開催

「米国におけるAYAがん支援プログラムの活動体制、支援内容、活動評価について
Adolescent/Young Adult Oncology: Considerations and Opportunities
for Psychosocial Care and Research」

座長:富岡 晶子（千葉大学大学院看護学研究院）

演者：Prof. Bradley J. Zebrack

（University of Michigan School of Social Work）

The 5th Global AYA cancer congressにて発表

2023 年 6 月、アメリカロングビーチで開催された The 5th Global AYA cancer congress において、AYA 研の活動報告として「Activities and Challenges for the AYA Oncology Alliance in Japan」ポスター発表を行いました。

国際学会等参加助成制度に関する検討

がん経験者である会員を対象とした国際学会等参加助成金の募集要項を作成しました。2024年度より募集、助成を開始します。

AYA Oncology Psychosocial Care Manual 日本語版の作成

翻訳ワーキングメンバーとして会員の参画・協力を得てオーストラリア

Canteen の許諾を受けて「AYA Oncology Psychosocial Care Manual」の日本語版を作成しました。

（社会連携活動）

全国AYA世代がん患者会の運営者との交流会開催

全国より 12～13 の団体が参加し活動内容や苦悩の共有を行いました。

- ・第 1 回患者会ミーティング 2023 年 3 月 12 日開催
- ・第 2 回患者会ミーティング 2023 年 9 月 18 日開催

2023年度事業概要（報告）

（社会連携活動）

カタリ場の開催

AYA世代のがんを支援されている方・団体の会員を対象に支援者の交流促進および支援者からの相談対応を行いました。

- ・第1回カタリ場 2023年3月10日開催 参加者3名
- ・第2回カタリ場 2023年5月26日開催 参加者2名
- ・第3回カタリ場 2023年9月22日開催 参加者3名

（調査研究活動）

調査研究活動の推進

学術集会においてAYA世代がん患者の研究についてのセッションを企画したほか、2023年度より研究デザインに悩んでいる方、調査項目や内容が不安のある方等を対象とした会員向けの研究相談窓口を開設いたしました。

- ・第5回学術集会 調査・研究委員会企画
「AYAがん患者・サバイバーを対象とした研究の相談・支援」
座長:安藤 弥生(国立がん研究センター中央病院 臨床研究支援室/血液腫瘍科)
佛願 彰太郎(大阪府済生会吹田病院 看護部)
演者:吉田 沙蘭(東北大学大学院 教育学研究科)
樋口 明子(NPO法人 臨床研究支援機構/国立国際医療研究センター)
- ・研究相談 相談件数
2件

（研究の奨励及び研究業績の表彰）

第1回研究・活動助成 及び 研究・活動奨励賞の授与

AYAがんの医療と支援に係る研究や活動を推進するため思春期・若年成人がん領域の研究や、教育・啓発・支援活動の助成制度と優れた研究・活動を称える表彰として、2023年度は研究助成2件、研究奨励賞1件、活動奨励賞2件が決定され、第5回AYA 研学術集会にて研究・活動奨励賞の授与式を行いました。

2023年度事業概要（報告）

（学術誌及び論文と図書の刊行事業）

研究会誌「AYAがんの医療と支援」発刊

年2回、研究成果の発信、学術的交流、情報伝達の間として発刊しているオンライン研究会誌です。既存の枠にとらわれない新たな視点やスタイルの論文など投稿を随時、募集しています。

- 1) 3 巻1 号発刊：2023 年 3 月 4 日に公開
巻頭言 1 編、原著 1 編、総説 2 編
活動紹介 2 編、計 6 編
- 2) 3 巻2 号発刊：2023 年 9 月 30 日に公開
巻頭言 1 編、原著 1 編、総説 1 編、事例報告 1 編
活動紹介 2 編 計 6 編



（その他この法人の目的を達成するために必要な事業）

倫理的検討課題

AYA研の活動に関する2023年度利益相反マネジメント、AYA研学術集会発表者及び学会誌執筆者に関する利益相反確認を行いました。

2023年度事業概要（報告）

（広報活動）

後援

- ・ 第 1 回信州 AYA 世代交流会& NAGAYA 地域公開講演会
- ・ 認定 NPO 法人希望の会 「若者の街」渋谷から発信!一緒に知ろう、ともに考えよう
- ・ AYA 世代のがんのこと
- ・ がんネットワーク東京第 4 回セミナー
- ・ 公益財団法人大阪対がん協会 「あつい胸さわぎ」映画上映会とトークセッション
- ・ 東京都立小児総合医療センター AYA キャンサーサバイバーズミーティング

協力

- ・ 特定非営利法人 deleteC がん治療研究公募の周知の協力
- ・ 公財 がん集学的治療研究財団 がんフェア 広報パネルを製作した。
- ・ 東風 「ケアを紡いで」映画上映公開に先立つ告知協力
- ・ NPO 法人がんサバイバーネットワークジャパン Japan Cancer Forum2023
- ・ 日本サイコオンコロジー学会 AYA-CAST 参加者募集の周知協力
- ・ 特定非営利活動法人日本小児がん研究グループ(JCCG) JCCG 小児がんサバイバー大規模観察研究 市民公開シンポジウム周知協力

報道実績

- ・ AYAWEEK2023 開催に伴いAYA 世代に関する記事が複数紙で掲載されました。
2023/03/19 東奥日報、2023/03/20 秋田魁新報、2023/03/19 岩手日報、
2023/03/19 埼玉新聞、2023/03/19 四国新聞、2023/03/19 愛媛新聞
- ・ 2023/4/15 女子 SPA!に清水理事長取材及び AYA 研の紹介
- ・ 2023/9/27 プレジデントオンラインに清水理事長取材及び AYA 研の紹介
- ・ 2023/10/18 レバレッジズ株式会社「MIKARU」にて AYA 研が紹介
- ・ 2023/11/29 京都新聞に清水理事長取材及び AYA 研の紹介

2023年度 役員名簿

役員名簿 任期（第5期～第6期）

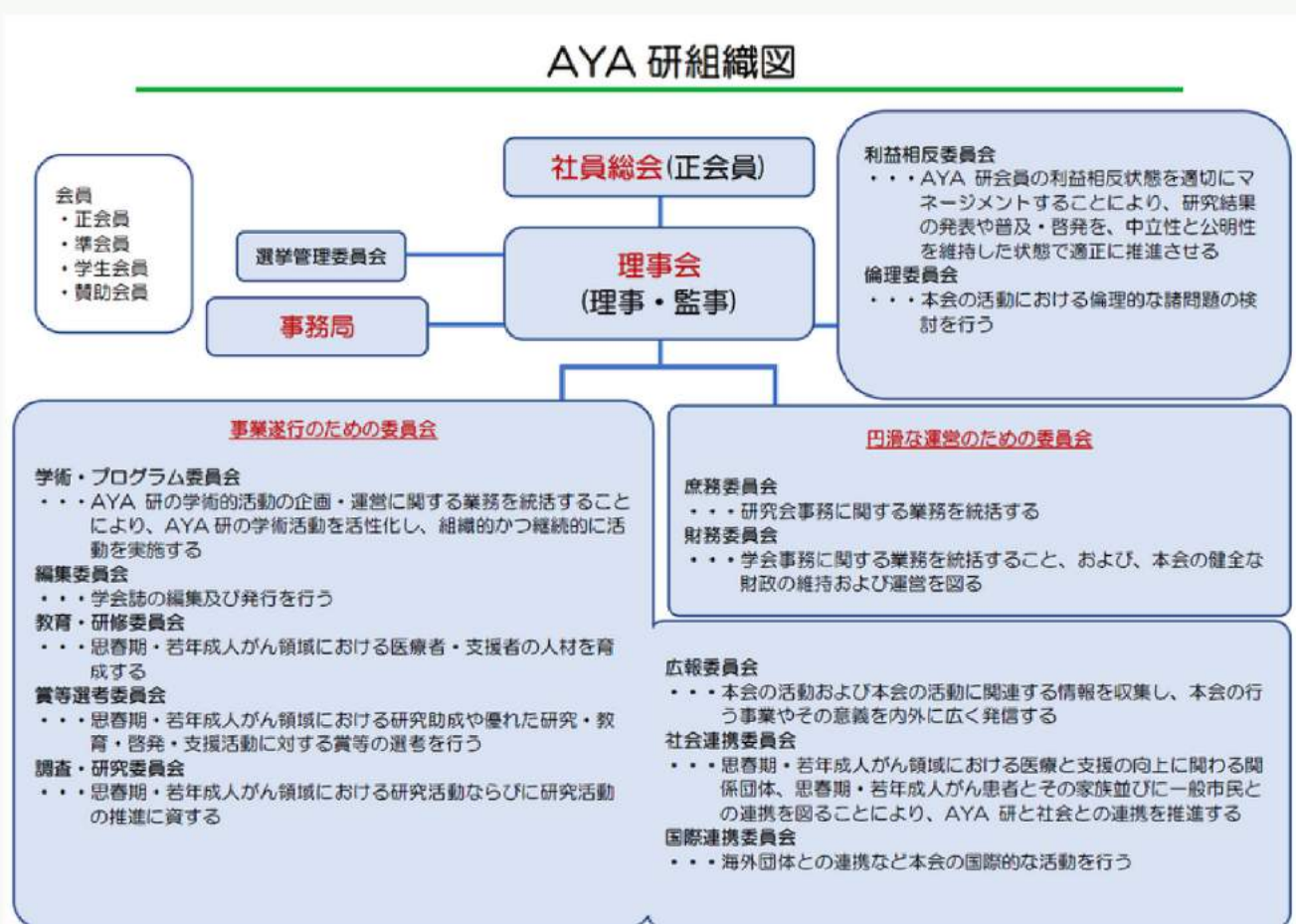
2022年3月20日～2024年定時総会終結まで

理事長	清水 千佳子（国立国際医療研究センター病院 がん総合診療センター /乳腺・腫瘍内科）
副理事長	小澤 美和（聖路加国際病院 小児科）
理事	一戸 辰夫（広島大学原爆放射線医科学研究所 血液・腫瘍内科） 尾上 琢磨（兵庫県立がんセンター 腫瘍内科） 川井 章（国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍科・ リハビリテーション科） 岸田 徹（NPO 法人がんノート） 谷口 明子（東洋大学大学院文学研究科 教育学専攻） 津村 明美（認定NPO 法人 横浜こどもホスピスプロジェクト） 富岡 晶子（千葉大学看護学研究院 先端実践看護学研究部門 高度実践看護学講座） 橋本 久美子（聖路加国際病院 相談支援センター） 樋口 麻衣子（富山大学附属病院 看護部） 古井 辰郎（岐阜大学医学部附属病院 成育医療センター） 堀部 敬三（国立病院機構名古屋医療センター 小児科） 森 文子（国立がん研究センター中央病院 看護部） 吉田 沙蘭（東北大学大学院教育学研究科 教育心理学講座） 脇口 優希（兵庫県立大学大学院看護学研究科（博士後期課程））
監事	天野 慎介（一般社団法人全国がん患者団体連合会） 鈴木 直（聖マリアンナ医科大学 産婦人科学）



2023年度 AYA研組織図

AYA研では、12の委員会が役割をもちながら活動しています。会員の入会及び、委員としてのAYA研へのご参加もお待ちしております。



2023年度決算報告 および会員状況

【決算】

(円)

収入合計	16,735,548
会費	2,638,000
事業費	1,527,827
寄付金	320,140
特別会計収入	12,249,188
雑収入・その他	393

支出合計	24,792,761
事業費	3,654,584
管理費	8,567,485
特別会計費	12,570,692

【会員状況】

(名)

	現会員数	2023年度末 会員数	入会	退会	区分変更 入／出	2022年度 末会員数
正会員	487	518	78	43 (36)	3/0	480
準会員	89	96	9	19 (14)	1/0	105
学生会員	37	50	4	13 (9)	0/4	63
賛助会員	5	4	2	0		4
団体会員	2	2	2	0		

AYAがんの医療と支援のあり方研究会

団体会員募集のご案内

団体入会でお得な特典をご用意しました

AYAがんの医療と支援のあり方研究会では、当事者のもっとも身近な支援者である病院や診療所の皆様の、AYA世代のがんに関する最新情報の収集、AYA世代の支援を担う人材育成、ネットワーキングのニーズにこたえることを目的として、「団体会員」を新設する運びとなりました。

募集期間

2023年7月15日（土）～随時受付

★2023年12月までの入会団体様に限り
特別価格でご入会いただけます。

応募対象

AYA研の活動の目的に賛同し、
共に活動していただける団体

応募方法

Googleフォームからご入会ください。

<https://forms.gle/BSP9VYNAt7Yvke87>



・AYA研HPの「手続き」内、「入会・退会・変更手続き」から確認できます。

一般社団法人
AYAがんの医療と支援のあり方研究会

所在地：名古屋市中区錦三丁目6番35号 CBCアネックス8階
メール：admini@aya-ken.jp
サイト：<http://aya-ken.jp/>

団体会員限定

特典のご案内

教育や研修に！
詳細はこちら
<https://aya-ken.jp/membership/members>

	個人会員（正会員）	団体会員
会費	5,000円	80,000円
サポート研修（2回/年）	12,000円	各回1名ずつ無料(計2名)
チームビルディング研修 （1回/年）	10,000～12,000円(仮)	年1回3名まで無料
学術集会	6,000～9,000円	個人会員価格で参加可能
研究会誌	閲覧可	人数制限なしで閲覧可
会員用情報サイト	閲覧可	人数制限なしで閲覧可
カタリ場(支援者支援の場)	利用可	利用可
動画コンテンツ	閲覧可	人数制限なしで閲覧可 ※閲覧いただけるコンテンツには一部制限があります
研究相談支援	利用可	利用可

2023年度中は会費80,000円！

※2024年～は100,000円になります。

団体会員申し込みはこちらから→





一緒に知ろう
共に語ろう
AYA世代のがんのこと



連絡先

一般社団法人
AYAがんの医療と支援のあり方研究会

〒460-0003
名古屋市中区錦三丁目6番35号CBCアネックス栄8階
E-mail : office@aya-ken.jp
FAX : 052-734-2183